

三田村委員御意見

1 観測井戸 No. 11 周辺における調査結果について

- (1) 調査結果はこれで良いと思う。塩化ビニルモノマーは水に比べて重いことから、下水管へ流入している上層の地下水は汚染がなく、底部から流入している地下水で汚染が検出される可能性はある。
- (2) 第 1 帯水層の地下水が第 2 帯水層へ流入しているのであれば、第 2 帯水層の地下水位が局所的に高まるはずである。第 2 帯水層の地下水位コンター図を見る限り、局所的な高まりはなく、第 1 帯水層の地下水が第 2 帯水層へ流入している可能性は低いと考えてよい。
- (3) 下水道管を修復されるならば、地下水の流れが変化する可能性がある。早期に対策を行うべきである。

2 汚染拡散防止対策の基本方針案について

- (1) 透過性浄化壁による対策が、コスト的に他の対策と比べて有利であると考ええる。
- (2) 下水管への地下水の流入がバリアの役割を果たしていた可能性が高い。その仕組みを利用した対策案は効果的であると考ええる。

3 観測井戸 No. 63 周辺での措置に関する実施設計について

地盤沈下を引き起こさないために、あまり地下水位を下げないことが重要である。そのためには、ある程度揚水井戸の内径を大きくする必要がある。

4 北西部での観測井戸の設置案について

この設置位置でいいと思うが、調査結果をもとに、更なる調査や対策の必要性を検討する必要がある。